

氏名	相良 翔	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	福祉社会学、犯罪社会学、司法福祉論				
学位	修士(社会学)				
学歴	2011年3月 上智大学大学院 総合人間科学研究科 社会学専攻 博士前期課程 修了				
経歴	2011年4月～2014年3月 更生保護施設 補導員				
所属学会(役職)	ヨーロッパ犯罪学会, 日本社会学会, 日本犯罪社会学会(本部事務局会計部委員), 福祉社会学会, 日本社会病理学会, 日本保健医療社会学会, 関東社会学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 『現代社会論——社会学で探る私たちの生き方』	共著	有斐閣, 155-177	本田由紀編著	2015年6月	
2					
3					
(2) 論文					
1 該当なし					
2					
3					
(3) 学会発表					
1 更生保護施設職員の「処遇」に関する社会学的考察		福祉社会学会第13回大会(会場:名古屋大学)		2015年6月	
2 ダルクスタッフの「回復」—ベテランスタッフのインタビューからの考察		第89回日本社会学会(会場:早稲田大学)		2015年10月	
3					
(4) その他					
1 該当なし					
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1 文部科学省:科学研究費補助金(研究活動スタート支援)	更生保護施設における在所者の社会復帰に向けた介入に関する事例研究, (研究代表者)			2014年8月-2016年3月	
2					
3					
3. 教育業績					
講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
(1) 講義					
1 医療社会学	2015.4～2015.8	・医療社会学における基礎的な理論や概念について講義し、それぞれの学生が興味を持つテーマにそったレポートを作成できるように指導した。 ・毎回の講義においてリフレクションペーパーを用意し、学生の声を反映した。 ・穴埋め式のレジュメを作成し、講義に集中できるように工夫した。			
2 現代社会と福祉	2015.10～2016.2	・社会福祉学における中核的な理論や概念について発展的な講義し、それぞれの学生が興味を持つテーマにそったレポートが作成できるように指導した。 ・毎回の講義においてリフレクションペーパーを用意し、学生の声を反映した。 ・穴埋め式のレジュメを作成し、講義に集中できるように工夫した。			
3					
(2) 演習					
1 ソーシャルワーク演習Ⅲ	2015.10～2016.2	・グループワークに関する演習科目の担当者として関わった。 ・学生のグループディスカッションやロールプレイに関わり、適宜助言・指導を行った。			
2 ソーシャルワーク演習Ⅳ	2015.10～2016.2	・コミュニティアプローチに関する演習科目の担当者として関わった。 ・学生のグループ活動が円滑になるように、適宜助言・指導を行った。			
3 社会福祉専門演習Ⅰ	2015.4～2015.8	・『犯罪者の社会復帰』をテーマにして、専門書を購読し、グループ討議を行った。 ・『犯罪者の社会復帰』に関する現場に訪問するなどして学習を深めた。			
(3) 実習					
1 ソーシャルワーク実習Ⅰ	2016.2～2016.3	・障害者施設・高齢者施設の6施設11名を担当した。 ・実習中に巡回指導を行い、学生や実習指導者と協議し、よりよい実習になるよう指導や調整を行った。			
2 IPW実習	2016.8～2016.10	・地域担当教員として、それぞれの施設での実習が円滑に進むように環境整備や助言を行った。			
3 ソーシャルワーク実習事前指導Ⅱ	2015.4～2015.6	・実習経験をもとに学習をより深めるために、授業準備や資料作成を行った。			
4 ソーシャルワーク実習事前指導Ⅰ	2015.10～2016.2	・実習に必要な知識や技能の習得のため、授業準備や資料作成を行った。			

(5) その他			
1	公務員試験における学習相談	2015.4～2015.10	・公務員試験を受験する者に対して、学習のアドバイスや添削等を行った。
2	国家試験における学習相談	2015.5～2015.12	・国家試験受験者に対して、学習のアドバイスや添削を行った。 ・国家試験対策委員として『応援講座』を2月に1度のペースで開催した。
3	犯罪学に関する勉強会開催	2015.10～2016.3	・有志の学生と共に犯罪学に関する学習会を不定期で行った(計4回)
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学	実習プログラミング論
2	犯罪学セミナー(犯罪学における質的調査の最前線)	日本犯罪学会	参与観察
3			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
2			
3			
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	学科総務担当		
2	学科予算担当		
3	3年次学年担当		
4	国家試験対策委員		
5	IPW科目担当者会		
6	学生対応		
7	オープンキャンパスの運営		
8	研究室の解放		
9	スタッフルーム運営		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		